

旭川工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語Ⅳ B
科目基礎情報					
科目番号	0015		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	人文理数総合科 (人文系)		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	後期:2	
教科書/教材	教科書 : Science at Hand (宮本恵子著、金星堂)				
担当教員	水野 優子,森永 治之介				
到達目標					
1. 科学技術分野について書かれた英文をさまざまな文章理解の方法を用いて素早く読み取り、概要を把握できる。 2. 科学技術分野について英語で述べられた内容を理解し、自らも英語を用いて意見を述べたり情報を伝えることができる。 3. 中学既習および高等学校学習指導要領に示されているレベルの語を、日本語での意味および英語での定義で理解できる。 4. 科学技術分野での必要となる語彙や文法を習得する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	科学技術分野について書かれた英文をさまざまな文章理解の方法を用いて素早く読み取り、概要を把握することができる。		科学技術分野について書かれた英文をいくつかの文章理解の方法を用いて読み取り、ある程度概要を把握することができる。		科学技術分野について書かれた英文の読み取りや概要把握ができない。
評価項目2	科学技術分野について英語で述べられた内容を理解し、自らも英語を用いて意見を述べたり情報を伝えることができる。		科学技術分野について英語で述べられた内容をおおむね理解し、自らも英語を用いてある程度意見を述べたり情報を伝えることができる。		科学技術分野について英語で述べられた内容を理解できず、自ら英語を用いて意見を述べたり情報を伝えることができない。
評価項目3	中学既習および高等学校学習指導要領で示されているレベルの語を、日本語での意味および英語での定義で十分に理解することができる。		中学既習および高等学校学習指導要領で示されているレベルの語を、日本語での意味および英語での定義でおおむね理解することができる。		中学既習および高等学校学習指導要領で示されているレベルの語を、日本語での意味および英語での定義で理解することができない。
評価項目4	科学技術分野で必要となる語彙や文法を十分に習得できる。		科学技術分野で必要となる語彙や文法をおおむね習得できる。		科学技術分野で必要となる語彙や文法を習得できない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	科学技術分野について書かれた400～500語程度の英文を読み、大意と必要な情報を素早く把握できるようにする。また、必要な情報や自分の考えを英語で表現できるようにする。そのためには、中学既習および高等学校学習指導要領に示されているレベルの基本的な語については英語による定義での理解も深め、加えて科学技術分野で必要となる語彙、文法事項、構文を習得する。				
授業の進め方・方法	科学技術に関するテキストの講読と演習を通して、専門分野に関する英語力を養成することを目指す。授業内で扱う重要表現や各ユニットのトピックに関連する資料などをとくに、自己表現活動を適宜行う。また、語彙増強のために、教科書で扱う語については随時小テストを実施する。				
注意点	・教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目の割合はB-2, C-2, C-3とする。 ・総時間数45時間 (自学自習15時間) ・自学自習 (15時間) は、日常の授業 (30時間) のための予習復習時間および課題作成時間、小テストや定期試験の準備のための勉強時間を総合したものとする。 ・評価については、合計点数が60点以上で単位修得となる。その場合、各到達目標項目の到達レベルが標準以上であること、教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目を満たしたことが認められる。 ・開講期に英検準2級に合格した場合、およびTOEIC で400 点以上を取得した場合には、当該期の成績において10 点を上限に加点する。TOEICについては、前期に400点以上を取り後期に50点以上の伸びがあった場合、後期においても10点を上限に加点する。また後期に25～49点の伸びがあった場合は、後期に5点を上限に加点する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	Orientation Unit 6 Doctors “Grow” Ear for Transplant in Patient’s Forearm	・学習の仕方、授業の進み方がわかる。 ・Unit6の重要な単語／表現を理解する。 ・人口耳の移植に関する英文を読み、概要を把握することができる。	
		2週	Unit 6 Doctors “Grow” Ear for Transplant in Patient’s Forearm	・さまざまな文章理解の方法を用いて、人口耳の移植に関する英文の理解を深める。	
		3週	Unit 6 Doctors “Grow” Ear for Transplant in Patient’s Forearm	・Unit6の章末問題に取り組んで本文の概要を復習し、英文で使用された重要語 (句)、文法を定着させることができる。 ・美容外科について、英語で自分の考えを表現することができる。	
		4週	Unit 7 A German Grocery Chain Is Selling First-Of-Its-Kind “No-Kill” Eggs	・Unit7の重要な単語／表現を理解する。 ・「殺さない」鶏卵発売に関する英文を読み、概要を把握することができる。	
		5週	Unit 7 A German Grocery Chain Is Selling First-Of-Its-Kind “No-Kill” Eggs	・さまざまな文章理解の方法を用いて、「殺さない」鶏卵発売に関する英文の理解を深める。	
		6週	Unit 7 A German Grocery Chain Is Selling First-Of-Its-Kind “No-Kill” Eggs	・Unit7の章末問題に取り組んで本文の概要を復習し、英文で使用された重要語 (句)、文法を定着させることができる。 ・「殺さない」鶏卵について、英語で自分の考えを表現することができる。	
		7週	Unit 8 Why Scientists Want to Engineer Spicy Tomatoes 次週、中間試験を実施する	・Unit8の重要な単語／表現を理解する。 ・ピリ辛トマトを作り出す研究に関する英文を読み、概要を把握することができる。	
		8週	中間試験答案返却、解答解説 Unit 8 Why Scientists Want to Engineer Spicy Tomatoes	・さまざまな文章理解の方法を用いて、ピリ辛トマトを作り出す研究に関する英文の理解を深める。	

4thQ	9週	Unit 8 Why Scientists Want to Engineer Spicy Tomatoes	- Unit8の章末問題に取り組んで本文の概要を復習し、英文で使用された重要語（句）、文法を定着させることができる。 - 遺伝子組み換えについて、英語で自分の考えを表現することができる。
	10週	Unit 9 Children Are Susceptible to Robot Peer Pressure	- Unit9の重要な単語／表現を理解する。 - ロボットが子供たちに与える影響に関する英文を読み、概要を把握することができる。
	11週	Unit 9 Children Are Susceptible to Robot Peer Pressure	さまざまな文章理解の方法を用いて、ロボットが子供たちに与える影響に関する英文の理解を深める。
	12週	Unit 9 Children Are Susceptible to Robot Peer Pressure	- Unit9の章末問題に取り組んで本文の概要を復習し、英文で使用された重要語（句）、文法を定着させることができる。 - 同調行動について、英語で自分の考えを表現することができる。
	13週	Unit 10 British Doctors May Soon Prescribe Art, Music, Dance, Singing Lessons	- Unit10の重要な単語／表現を理解する。 - 英国の処方箋に登場する芸術に関する英文を読み、概要を把握することができる。
	14週	Unit 10 British Doctors May Soon Prescribe Art, Music, Dance, Singing Lessons	さまざまな文章理解の方法を用いて、英国の処方箋に登場する芸術に関する英文の理解を深める。
	15週	Unit 10 British Doctors May Soon Prescribe Art, Music, Dance, Singing Lessons	- Unit10の章末問題に取り組んで本文の概要を復習し、英文で使用された重要語（句）、文法を定着させることができる。 - 社会的処方について、英語で自分の考えを表現することができる。
	16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語量の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど）を適切に用いることができる。	2	
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
			様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
			異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
			他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
			他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
			日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
			事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
			結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	

評価割合

	試験	小テスト・課題	コミュニケーションに対する積極性	合計
総合評価割合	65	30	5	100
基礎的能力	65	30	5	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0